

附属小スタートカリキュラムについて

附属小 小園・永野

1 スタートカリキュラム編成について

(1) スタートカリキュラムのねらい

学校生活や学習における様々な事象に直接触れ合う活動を通して、それらの存在やよさに気づき、「明日も学校へ行きたいな。」「もっと、こんなことをしてみたいな。」というような学校の生活や学習への意欲や自信を高める。

なお、小学校生活に必要な基本的な生活習慣については、意欲を高めながら、適切に指導を行い、実態に応じて定着を求めていく。

※ これはスタートカリキュラムのねらいなのであるため、どの教科等でも、このねらいを踏まえて、内容や方法を設定していく。

(2) 本校におけるスタートカリキュラムの基本的な考え方

① 期間

スタートカリキュラム作成の期間を、入学から4週間程度とする。しかし、幼小のなめらかな接続という観点から、期間だけで簡単に区切るものではない。1年担任は、入学後4週が過ぎても、スタートカリキュラムのねらいや基本的な考え方を踏まえて指導を行う。

② スタートカリキュラムの核となる教科及び学習内容

生活科の特質から、生活科をカリキュラム上の核とする。具体的には、第1学年4～5月単元「たのしい がっこう」の小単元「がっこうたんけんをしよう」(内容(3))を核としたカリキュラムを編成する。

③ 指導上の考え方

生活科を核として、他教科、道徳、特別活動などの内容を合科的・関連的に扱い、大きな単元を構成する。その際、合科的な指導を中核としながら、関連させた教科双方の目標が達成されるよう配慮する。

- ・ 合科的な指導とは

各教科等のねらいをより効果的に実現するための指導方法の一つで、単元または1単位時間の中で、複数の教科の目標や内容を組み合わせて、学習活動を展開するもの。

- ・ 関連的な指導とは

教科等別に指導するが、各教科等の指導内容の関連を検討し、指導時期や指導方法について相互の関連を考慮して指導するもの。

⑤ 学級担任の運用

学級担任は、次項の週ごとのテーマや授業プランを見ながら、より効果的な指導ができるよう、週ごとの時間割計画を作成し、保護者に配布する。その際、子どもの一日のストーリーを考えた計画にする。

(3) 週ごとのテーマ及び目標，学習指導のポイント

スタートカリキュラムの過程で，段階的に学校生活に適応させていくために，期間である4週間は，週ごとのテーマ及び目標を設定する。そして，それらをもとに，学習指導のポイントを置く。

週	テーマ（各教科等を貫くもの）		
	人とのかかわり	学習にかかわること	基本的な生活習慣
	学習指導のポイント		
第1週目	やさしさいっぱい ふぞくしょう！（安心感）		
	「学校には，やさしい先生がたがっているな。」	「学校のお勉強は，幼稚園や保育園での活動を生かしてできそうだ。」	・朝の準備 ・帰りの準備 ・トイレの使い方 ・服装 等
	○ 生活や学習への安心感をもたせるために，必要な基本的な習慣を，子どもの意欲を大切にしながら指導していく。 ○ 学校内における多様な人・もの・こととの出合いを豊富にする。		
第2週目	たのしさいっぱい ふぞくしょう！（期待感）		
	「友達といっしょに遊んだり勉強したりするのが楽しいな。」	「勉強して，いろんなことを知ったり，できるようになったりしてうれしいな。」	・授業開始のあいさつ ・学習準備 ・体育服への更衣 等
	○ 一週目で出合った人・もの・ことに対するその子なりのよさを実感するために，じっくり・ゆっくり・たっぷりとかかわることができるようにする。		
第3週目	いいこといっぱい ふぞくしょう！（満足感）		
	「学校にはやさしい先生やお兄さんお姉さんがたくさんいるな。」 「もっと，かかわりたいな。」	「学校には，国語や算数，たのしい学習があるんだね。」	・時間への意識の始まり ・言葉の使い方 ・学習道具の整理整頓 等
	○ 人・もの・ことに対するその子なりのよさを広げていくために，活動を個別化したり友達との交流活動を設定したりする。		
第4週目	もっとできるよ ぼく・わたし！（有能感）		
	「いろんな人たちと，話したり，遊んだりできるようになった。」 「もっと，友達を増やしたいな。」	「いろんな学習で，～～ができるようになったよ。」 「もっと，～～を頑張っていきたいな。」	・主な基本的な生活及び学習習慣ができるようになる。
	○ 自分の変容や成長に気付かせるために，振り返り活動を充実させる。その際，振り返るための具体物を準備するなど，子どもの実態に応じた指導を行う。		

※ 上記の目標は，スタートカリキュラムの目標であり，どの教科も，この目標を踏まえて，内容や方法を具体化していく。

2 実践

(1) 第1週のプランと実践

【第1週テーマ】 やさしさいっぱい ふぞくしょう！（安心感）					
人とのかかわり		学習にかかわること		基本的生活習慣	
「学校には、やさしい先生がたが いるな。」		「学校のお勉強は、幼稚園や保 育園での活動を生かしてできそ うだ。」		・朝や帰りの準備 ・トイレの使い方 ・服装 等	
日	6	7	8	9	10
曜	月	火	水	木	金
行事	入学式				学年学級PTA (低学年)
朝			わくわくタイム (学級での朝の会・学 級活動) ○ 自分の出席番号を知 り、番号順に並ぶ。 ○ 引き出しや棚の使 い方を知る。 ○ ランドセルの片付 け方を知る。 ○ 靴箱の使い方や並 べ方を知る。 ○ 挨拶の仕方を話し 合う。	安全指導 わくわくタイム (学級での朝の会・生 活) ○ 友だちや先生と 挨拶を交わす。 ○ ランドセルの中 身を引き出しに整 理して入れる。 ○ ランドセルを棚 に片付ける。 ○ 出席番号順に並ん で、学校を探検する。 ○ 学校探検をしなが ら、校舎内での安全な 過ごし方や校庭での 遊び方を知る。 ○ 廊下の歩き方や 過ごし方を知る。	わくわくタイム (学年での朝の会・ 国語・算数・生活・音楽) ・みんなでうたおう ・みんなであそぼう ○ 友だちや先生と挨拶 を交わす。 ○ 仲間づくりゲーム をする。 ○ 返事の仕方や話の 聞き方を話し合う。 ○ 絵本の読み聞かせ を聞く。
1	○ 担任の先生や学 級の友だちに出会 う。 ○ 担任の名前と学 級の名前を知る。 ○ 入学式に参加す る。 ○ 担任の先生の話 を聞く。	学校を たんけんしょう(生活) ○ 学校を探検して、 保健室の場所を知 る。 ○ トイレの使い方 を知る。	自分のことをしょうか いしょう(生活・図工) ○ 自分の絵を描い て自己紹介をする。	あさ(国語) ○ 朝の学校の様子 で、見付けたことや 気付いたことを話 し合う。 ○ 鉛筆の正しい持ち 方を確認し、運筆練 習をする。	
2		うきうきタイム (学級活動及び 学年での帰りの会) ○ お便りのしまい方 や帰りの準備の仕 方を知り、帰りの準 備をする。 ○ 安全な下校の仕 方を話し合う。 ○ 集団下校の仕 方を知る。 ○ 友だちや先生に元 気に挨拶する。	うきうきタイム (生活及び 学年での帰りの会) ○ 一日を振り返る。 ○ 安全な下校の仕 方を話し合う。 ○ 帰りの準備をする。 ○ 帰りの挨拶をする。 ○ 集団下校をする。	うきうきタイム (生活及び 学年での帰りの会) ○ 一日を振り返る。 ○ 安全な下校の仕 方を話し合う。 ○ 帰りの準備をする。 ○ 帰りの挨拶をする。 ○ 安全に気を付けな がら集団下校をす る。	
3					
下校			11:40	11:40	11:40
時 数	国語：1. 5時間，算数：0. 5時間，生活：3時間，音楽：0. 5時間， 図工：0. 5時間，特活（学級活動）：3時間				

◎週のねらい: 1年生にかかわる先生方と慣れ親しむ活動や教室やトイレなどの身の回りの施設の使い方を知る活動を通して、小学校生活への安心感を高める。

① カリキュラム作成のポイント

数多くの幼稚園・保育所から入学してくるため、学級の中に幼稚園・保育所からの友達が少ない子どもがほとんどである。そこで、学年での集団下校や朝の会（わくわくタイム）を設定し、『多くの先生がぼくたちのことを見守ってくれているんだ。』と、学級担任だけでなく、他の学級の担任や専科の先生も自分たちの先生ととらえさせ、安心感をもつことができるようにした。

活動の時間については、子どもの実態に合わせて、1モジュールの時間を設定していくことを学年で共通理解を図った。（1単位45分に縛られないタイムテーブルの実施）

週毎に週案を作成し配布することとしたが、これは、小学校生活が初めてとなる保護者もあり、学校生活への不安を解消するためである。学習の様子を伝えるために、配布する週案には簡単な活動内容及び時数を示すこととした。

② わくわくタイム

1年部を中心とした先生方とかかわる活動や挨拶や仲間づくりなど学年の友達とかかわる活動を通して、学年に対しての所属感を高めることができるようにする。子どもが学校生活に対して、期待感や満足感をもってほしいという思いから活動名を『わくわくタイム』とした。活動内容は、各担当者の得意なことを生かして役割分担をする。

実施する時間帯としては、一日のスタートである朝活～1時間目を基本とする。

③ うきうきタイム

一日の終わりに、学級や学年での帰りの会を通して、一日を振り返りながら、できるようになったことや楽しかったことを伝え合い、次の日からの学校生活に対しての意欲をもつことができるようにする。



学年の先生方の自己紹介



大型絵本の読み聞かせ



算数の要素を取り入れた仲間づくりゲーム

(2) 第2週のプランと実践

【第2週テーマ】 たのしさいっぱい ふぞくしょう！（期待感）

人とのかわり		学習にかかわること		基本的生活習慣	
「友達といっしょに遊んだり勉強したりするって楽しいな。」		「勉強して、いろんなことを知ったり、できるようになったりしてうれしいな。」		<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始のあいさつ ・学習準備 ・体育服への更衣 等 	
日	13	14	15	16	17
曜	月	火	水	木	金
行事	聴力検査		避難訓練 (地震・火災)	視力検査 通子会ロング	わくわくタイム
朝	学年朝会	にこにこタイム	通子会	学級の時間	
1	あさ（国語） ○朝の様子について話し合う。 ○教科書の挿絵から気付いたことを話し合う。	がっこうたんけんをしよう（生活） ○校内のいろいろな教室を探検する。 ○他の学年の学習の様子を知る。	ハローイングリッシュ（外国語科） ○外国語科の先生を知る。 ○英語であいさつをする。	うたってあそぼう（音楽） ○友達と楽しくリズム遊びをする。 ○友達と楽しく歌を歌う。	わくわくタイム（生活） ・みんなであそぼう ・みんなでうたおう
2	どうぶつたんけん（算数） ○教科書の挿絵を見て気付いたことを話し合う。	えんぴつとなかよくなろう（書写） ○文字を書く時の正しい姿勢を知る	どうぶつたんけん（算数） ○教科書の挿絵の動物を数える。	しりよくけんさ（学校行事） ○多目的室を知り、視力検査を受ける。	ともだちをたくさんつくろう（生活・体育） ○友達と校庭や遊具で楽しく遊ぶ。
3	ちょうりよくけんさ（学校行事） ○パソコン室を知り、聴力検査を受ける。	ともだちをたくさんつくろう（生活・体育） ○友達と校庭や遊具で楽しく遊ぶ。	ひなんくんれん（学校行事） ○校内で地震と火災が起きたときの避難の仕方を知る。	つうこかいロング（特別活動） ○同じ通子会の友達を知り、登下校の仕方について話し合う。	ともだちをたくさんつくろう（生活・音楽） ○友達と楽しくリズム遊びを楽しむ
4	きゅうしょくのじゅんぴをしよう（学活） ○給食時に必要な準備を知る。	たのしいがっこう（生活） ○給食の時間のマナーについて話し合う。	どんなおはなしかな（国語） ○絵本の読み聞かせを聞く。 ○感想を話し合う。	どうぞよろしく（国語） ○名前や好きなものの絵をかいた名刺を作る。	見るとびっくり（図工） ○葉っぱや石を見てイメージを広げる。
5	そうじのしかたをしよう（学活） ○教室掃除の仕方を知り、みんなで掃除する。	たのしいがっこう（生活） ○登下校の様子を振り返る。 ○自分の通子会を知る	あとしまつ（道徳） ○後始末の大切さについて話し合う。	からだほぐしうんどう（体育） ○友達と楽しく体を動かしながら遊ぶ	どんなおはなしかな（国語） ○図書室に行き、絵本を読む。
下校	15:05頃 学校発	14:25頃 学校発			05頃 学校発
時数	国語(書写含む)：4時間、算数：3時間、生活・体育：2時間、外国語科：1時間、道徳：1時間				

第2週からは、前週の子どもたちの様子を写真とコメントで保護者に伝えるようにした。

今週の子どもたち



ぼくと好きなもの同じだね！
これからよろしくね。

学校探検って楽しいな！
ここは、何の教室かな？

◎週のねらい：遊びや学習の中で友達と楽しくかかわる活動を通して、一緒に活動するよさを味わい、学校生活への期待感を高める。

① カリキュラム作成のポイント

週のテーマ「たのしさいっぱい ふぞくしょう！」に合わせ、友達とのかかわりが生まれる活動を設定する。その際、体育服への更衣の仕方や脱いだ服の置き方を知る活動（生活）の後、体いっぱい使って友達と遊ぶ活動（体育）を行い、そして、その活動を通して気付いたことを表現し伝え合う活動（生活）を設定するなど、合科的な学習を取り入れていく。

朝の会や帰りの会、給食の時間は子どもが準備等に慣れるまで、ゆったりと時間を取れるような弾力的な時間配分を行うこととした。特に、給食の時間は6年部の協力ももらい、6年生に手伝ってもらいながら、準備や後片付けの仕方が身に付くようにした。

「わくわくタイム」を週のまとめである金曜日に設定し、『学校には楽しい友達や先生がいっぱいてうれしいな。』と、期待感を高めた状態で第3週へつなげられるようにした。

② 子どもの変容

第1週のわくわくタイムに続けて、週の始めの学年朝会でも、1年部の先生方の役割（校務分掌）や学年目標について聞く活動を設定した。これによって、多くの子どもが、担任だけでなく、他の学級の担任や専科の先生の名前と顔を覚え、自分から挨拶をしたり他の学級の担任に「〇〇先生だ！」と声をかけたりする姿があった。また、始業前等に担任が用事で教室に不在の場面でも、隣の教室に来て、「何をしたらいいの？」と自分から尋ねてくる子どもの姿がよく見られた。分からないことがあっても、頼れる大人がいるという安心感をもつことができたことで、登校しぶりを見せる子どもは見られなかった。

また、子どもにとって楽しい活動の中に、学校生活において必要な習慣・技能（安全な廊下歩行やトイレの使い方等）を指導する場面を設定したことで、楽しみながら、習慣・技能を理解する姿が見られた。特に、友達とかかわる活動を重視して設定していたことで、集団でのルールやマナーについて考えさせる機会を多くもつことができた。



廊下の右側を歩いて学校探検



学級毎に整列（学年朝会）



友達とからだほぐしの運動

(3) 第3週のプランと実践

【第3週テーマ】 いいこといっぱい ふぞくしょう！（満足感）					
人とのかかわり		学習にかかわること		基本的な生活習慣	
「学校にはやさしい先生やお兄さんお姉さんがたくさんいるな。」 「もっと、かかわりたいな。」		「学校には、国語や算数、たのしい学習があるんだね。」		・ 時間への意識の始まり ・ 言葉の使い方 ・ 学習道具の整理整頓等	
日	20	21	22	23	24
曜	月	火	水	木	金
行事	掃除班会議 夏服更衣準備期間	学年体育の実施 (かけっこ・リレー大会) 水曜校時	親子通学子ども会 PTA総会 火曜校時	内科検診 学年体育の実施 (かけっこ・リレー大会)	春の一日遠足
朝	学級の時間	さわやかタイム	通子会	学級の時間	
1	たのしいがっこう（生活） ○学校探検をする。 ○学校生活について気付いたことをみんなで話し合う。	ハローイングリッシュ（外国語科） ○ALTの先生と楽しく遊ぶ。 ○英語であいさつをする。	わくわくタイム（生活） ※インフルエンザの流行により、次週へ延期	うたってあそぼう（音楽） ○伴奏に合わせて楽しく歌ったり、遊んだりする。	
2	みつけたよ（国語） ○学校探検で見付けたことをカードにかいて伝える。	たのしいがっこう（生活） ○校庭を中心に学校探検をする。	親子通学子ども会（特別活動） ○同じ通学子ども会の友達や保護者の前で自己紹介をする。	10までのかず（算数） ○5までの数を、おはじきを使って数える。	
3	うたってあそぼう（音楽） ○伴奏に合わせて楽しく歌ったり、遊んだりする。	かけっこ・リレーあそび（学年体育） ○みんなで、かけっこやリレーあそびをする。	すきなものなあに（図工） ○自分の好きなものをパスを使って絵に表す。	かけっこ・リレーあそび（学年体育） ○学年のみんなでリレーあそびをする。	
4	10までのかず（算数） ○5までの数を、おはじきを使って数える。	うたにあわせてあいうえお（国語） ○あいうえおで始まるお話を讀んだり、作ったりする。	たのしいえんそく（学級活動） ○遠足の行き先や活動について知る。 ○遠足の時の約束を話し合う。	うたにあわせてあいうえお（国語） ○あいうえおで始まるお話を讀んだり、作ったりする。	
5	がっこうだいすき（道徳） ○学校にはどんな楽しいことがあるか話し合う。	10までのかず（算数） ○5までの数を、おはじきを使って数える。	うたにあわせてあいうえお（国語） ○あいうえおで始まるお話を讀んだり、作ったりする。	内科検診（学校行事） ○内科検診を受ける。 ○検診の受け方を知る。	
下校	15:05頃 学校発	15:05頃 学校発	14:25頃 学校発	15:05頃 学校発	15:00頃 学校発
時数	国語(書写含む)：5時間、算数：3時間、生活：2時間、音楽：2時間、図工：1時間、体育：2時間、外国語科：1時間、道徳：1時間、特活：2時間、学校行事：6時間				
今週の子どもたち					
					
					

◎週のねらい：学校行事等にかかわる活動を通して、同じ学年や違う学年の友達とのかかわりを深め、学校生活への満足感を高める。

① カリキュラム作成のポイント

第3週には、学校行事の春の一日遠足や児童会活動の親子通学子ども会、そして、第4週に実施されるかけっこ・リレー大会を見通した活動を意図的に設定するようにした。初めての学校行事等があることから、それらに向けて、安心して参加することができるようにするとともに、自分にとってプラスになる活動が学校にはたくさんあるということに気付かせ、学校生活への満足感を高めていく。

② 子どもの変容

学校生活に慣れ、朝や帰りの準備を自分でできるようになった。1単位45分の時間設定にも慣れ、授業が始まる頃には、自分たちで教室に入る子どもの姿が増えてきた。係活動や給食当番にも意欲的に取り組む姿が見られた。また、かけっこ・リレー大会に向けての練習や一日遠足を通して、同じ学級の友達と一生懸命応援する姿や同じ学級の友達と仲良く遊ぶ姿など学級集団としての意識を高めることができた。

通学子ども会の友達や給食の手伝いに来てくれる6年生とのかかわりが増えたことで、学校のことや違う学年の友達をもっと知りたいという思いを高め、始業前には、進んで学校探検に出かけ、校内の様子を見たり、高学年の教室に遊びに行ったりする子どもが増えてきた。

「今日は、〇〇をするんだよね。」と、週案を親子で確認している子どもが多く、見通しをもつことができ、より一層安心感を高めながら学校生活を送ることができるようになってきた。



係活動を通して、
友達とかかわり合う子ども



6年生に教えてもらいながら
給食の準備をする子どもたち

(4) 第4週のプランと実践

【第4週テーマ】もっとできるよ ぼく・わたし！（有能感）					
人とかかわり		学習にかかわること		基本的な生活習慣	
「いろいろな人たちと、話したり、遊んだりできるようになった。」 「もっと、友達を増やしたいな。」		「いろいろな学習で、～～ができるようになったよ。」 「もっと、～～を頑張っていきたいな。」		・主な基本的な生活及び学習習慣ができるようになる。	
日	27	28	29	30	5/1
曜	月	火	水	木	金
行事	かけっこ・リレー大会			かけっこ・リレー大会 予備日	写生会
朝	学級の時間	学級の時間		係の時間	朝カット
(8:45～)	かけっこ・リレー大会（体育） ○力いっぱい、かけっこのコースをまっすぐ走る。	わくわくタイム（生活科） ○学校のいろいろな先生方の話を聞く。	昭 和 の 日	どうぞよろしく（国語） ○学校探検のために、名刺を作る。	写 生 会
(9:40～)	○クラスのみんなと力を合わせてリレーをする。	えんぴつとなかよくなるろう（書写） ○姿勢や鉛筆の持ち方に気を付けて、ひらがなの練習をする。		たのしいがっこう（生活） ○グループ毎に学校探検に出かける。	
(10:40～)	うたってあそぼう（音楽） ○校歌を歌う。 ○歌に合わせて楽しく遊ぶ。	ことばをつくろう（国語） ○あいうえおの文字を練習する。		たのしいがっこう（生活） ○探検で見付けたことをカードにかいて紹介する。	
(11:35～)	かかりをきめよう（学級活動） ○係活動について知る。 ○係を決める。	たのしいがっこう（生活） ○2年生と楽しく遊んだり、学校のことを教えてもらう。		ことばをつくろう（国語） ○学校探検で見付けものの名前を書く。	
(14:05～)	うたにあわせてあいうえお（国語） ○あいうえおで始まるお話を読んだり、作ったりする。	10までのかず（算数） ○10までの数を数えたり、数字を書いたりする。		10までのかず（算数） ○10までの数を数えたり、数字を書いたりする。	
下校	15:05頃 学校発	14:25頃 学校発		15:05頃 学校発	15:05頃 学校発
時数	国語(書写含む)：4時間，算数：2時間，生活：4時間，音楽：2時間，図工：5時間，体育：3時間，特別活動(学活)：1時間				

今週の子どもたち



お友だちに音楽の本を配ってあげたよ！



音楽の時間も座ってお話を聞いているよ！



給食の準備も上手になったよ！

◎週のねらい：これまでの1ヶ月間を振り返る活動を通して、自分の変容や成長に気づき、これからの学校生活への意欲を高める。

① カリキュラム作成のポイント

第4週は、これまでの活動を振り返りながら、自分の変容や成長を気づき、そして、そのことを学校生活の中でどのように生かせるのか考える活動を取り入れていく。

学級活動では、学級における生活をよりよくしていくための係活動に気付かせ、できるようになったことを生かした係を学級のみんなで考え、決めていく。

2年生が行う「1年生を迎える会」に参加し、迎える会を運営する2年生の姿から、「2年生みたいになるにはこれからどんなことをがんばればいだろうか。」と、これからの自分たちを考えるきっかけとする。また、2年生も1年生の時期があったことに気付かせ、「自分たちも、2年生みたいにできるようになれるよ。」と意欲をもって生活することができるようにする。

子どもたちは、第3週までの学校探検や行事の中で、担任だけではなく、様々な先生方によって自分たちの生活は支えられていることに少しずつ気付いてきている。そこで、第4週のわくわくタイムでは、副校長先生や附属幼稚園の先生、警備員さんに、ゲストティーチャーとして参加してもらい、自分たちを見守ってくれている人たちへの関心をさらに高め、「先生たちも応援してくれるから、自分たちにできることをもっと頑張っていこう。」と意欲を高められるようにする。

② 子どもの変容

これまでを振り返ったり、これまでの取組を生かしたりする活動を意図的に入れたことで、できるようになった自分に気づき、あいさつ運動に参加する子どもや休み時間のたびにトイレに行き、みんなのためにトイレのスリッパをきれいに並べる子どもなど、意欲をもって、自分なりに考え、行動する姿が見られるようになった。

3 成果と課題

(1) 成果

<教師>

- 週ごとのテーマから、その週のストーリーを学年会の中で共有したことで、学年内で足並みをそろえて学習活動を進めることができた。
- 学年部のメンバーで役割分担を明確にしながらかリキュラムを設定していったことで、それぞれの専門性を生かした指導を行うことができた。
- 1年担任の中には、新しく本校に赴任してきたメンバーがいたが、スタートカリキュラムを行ったことで、学校行事等に向けての指導の見通しをもつことができた。

<子ども>

- 自分の学級の担任だけでなく、学年部の先生や副校長先生などに積極的にあいさつをしたり、話しかけたりする姿が見られ、安心して学校生活を送ることができていた。
- 登校時に泣いたり、登校を渋ったりする子どもは一人も見られなかった。

(2) 課題

- 多くの幼稚園・保育所から入学してくるため、実態把握を十分にはかれないままのカリキュラム作成になってしまった。実態把握の取り方について、今後は検討していく必要がある。
- スタートカリキュラムについての認知を校内で高め、全校体制で指導を進められるような体制作りが必要である。